

対象疾患	PTEN 欠損を特徴とする De Novo 転移性ホルモン感受性前立腺（mHSPC）癌患者
使用する治験薬	カピバセルチブ(AZD5363)(AKT 阻害剤)<経口薬> アビラテロン(AZ_Abiratereon)(CYP17 阻害剤)<経口薬>
治験デザイン	第Ⅲ相試験 A 群：カピバセルチブ+アビラテロン（+prednisone/プレドニゾロン） B 群：プラセボ+アビラテロン（+prednisone/プレドニゾロン） ※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群または B 群のいずれかの治療を受けることになります。 ※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。
参加いただける患者さんの条件	以下の条件を満たす方が対象となります。 1) 年齢 説明文書及び同意文書への署名時の年齢が 18 歳以上（日本においては 20 歳以上）の患者 2) 組織学的に確認された de novo 転移性ホルモン感受性前立腺癌（小細胞癌を除く）（病理診断日：無作為割付け前 3 カ月以内） 3) 骨シンチグラフィ陽性又は CT 若しくは MRI スキャン上の転移巣により確認された遠隔転移性癌（局所リンパ節転移は転移性癌とはみなさない） 4) 転移性前立腺癌に対する薬物療法、放射線療法、又は手術による前治療歴なし（ADT 及び／又はアビラテロンとプレドニゾロンとの併用は、無作為割付け前から最長 3 カ月間まで許容） ※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。
治験責任医師	泌尿器科 泉 浩二
治験依頼者	アストラゼネカ株式会社
備考(企業 HP 等)	